

生徒主体の『硬式野球部 応援団の結成』！

7/6（月）に開催された全国高等学校野球選手権群馬大会において、本校硬式野球部は、吉井高校、玉村高校、前橋西高校、榛名高校、長野原高校、下仁田高校との『7校連合』の一員として、高崎高校との初戦に臨みました。

部員不足の学校同士が力を合わせて出場する連合チームですが、どの学校の部員も人数不足を言い訳にすることなく、日々の練習に真摯に取り組んできました。県外遠征にも積極的に参加し、練習試合でも着実に結果を重ねるなど、選手たちが自信を深めていることが私にも伝わってきました。



その前向きな姿勢は、生徒会にも伝わっていたのでしょうか。きっかけは、生徒会の目安箱に寄せられた一通の『野球部を応援したい』という投稿でした。生徒会役員が話し合い、全校を対象に「予備調査」を実施したところ、50名を超える生徒が応援ツアーへの参加を希望しまし

た。生徒会担当の先生方にも迅速にご対応いただき、生徒会役員とともに協議を重ねた結果、バスを1台チャーターして応援ツアーを実施することになりました。



当日は40数名の生徒が応援団として球場に駆けつけました。あいにくの大雨となりましたが、スタンドには笑顔があふれ、選手たちへ熱い声援が送られました。野球部は合同練習や練習試合を通してチームワークを築いてきました

＊『みんなの学校新聞』にも記事が掲載されました！ <https://np-schools.com/news/18673>



が、応援団は当日初めて各校が集まり、いわば「アドリブ」での合同応援でした。それでも、『応援する気持ちは一つ』という共通の思いがあったからこそ、その場で声やタイミングを合わせながら、一体感のある応援をつくり上げることができました。

部員不足を補い合って結成された合同チームでしたが、三塁側スタンドは各校の応援

団で埋め尽くされました。それは、どの学校にも『選手たちを応援したい』という熱い思いをもった仲間がいた証だったのだと思います。

そして気づけば、この応援ツアーは『藤工 BLAZE』最初の生徒主体による企画となりました。生徒が『自ら考え、判断し、行動する』ことで学校をよりよくしていく——まさに本校教育ビジョン『藤工 BLAZE for our well-being!』を体現した取組となりました。

応援団の結成と運営に尽力してくれた生徒会役員の皆さん、生徒会担当の先生方、そして生徒を温かく送り出してくださった保護者の皆さま、先生方に心より感謝申し上げます。

この経験をきっかけに、生徒一人一人の主体的な挑戦がさらに広がり、『藤工 BLAZE』の輪が学校全体へと大きく広がっていくことを期待しています。（校長 星野 亨）

『第1回 藤工 BLAZE for our well-being! 講演会』

＜期日＞ 令和8年9月10日（木）13:30～15:20（105分）

＜保護者・外部等受付＞ 13:00～13:25

＜講師＞ All HEROs 合同会社代表 中山 芳一（なかやま よしかず）先生

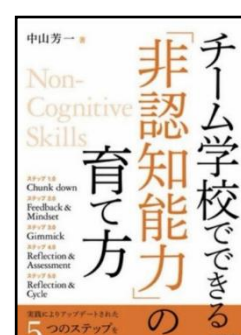
＜演題＞ 『藤工 BLAZE! ～自ら考え、判断し、行動するために、
知っておきたい非認知能力と Agency～』



昨年8月に発売！
講演会の予習として、この夏の読書にいかがでしょうか？
自分の「非認知能力」を強化するための参考になるはずです！



8月上旬発売予定です！
全国からの42実践例の1つに入れていただきました！
過去の勤務校での取組のほかに、『藤工 BLAZE』についても執筆させていただきました！



先週の7/10金に発売されたばかりです！藤工も「チーム」として「非認知能力」育成に向けて励んで参ります！